



テーマ別セッション

イラク協力の現在

2024年7月
JICA米田 元（前イラク事務所長）

独立行政法人 国際協力機構



イラクという国

危ない国？

- 長年にわたる戦争・制裁・国内混乱
- 場所によって異なる（北部：トルコ・イランの越境攻撃、中部：IS残党、南部：部族間抗争）

豊かな国？

- 人口：2024年4,400万人（IMF）
- 一人当たりGDP：2024年5,979ドル（IMF）
- 世界第5位の産油国

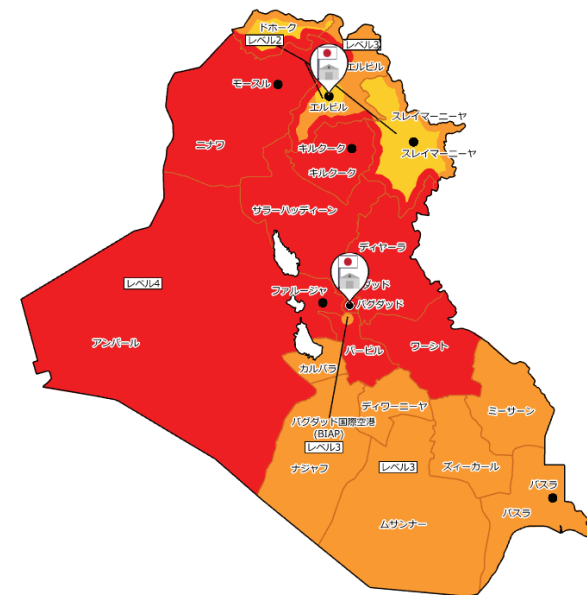
複雑な国？

- 民族・宗教（シーア6割、スンニ2割、クルド2割）が混在し、政府の要職を分担
- 別国のようなクルディスタン地域の存在

外務省危険レベル

危険レベル凡例

レベル1	十分注意してください。
レベル2	不要不急の渡航は止めてください。
レベル3	渡航は止めてください。（渡航中止勧告）
レベル4	退避してください。渡航は止めてください。（退避勧告）



コイの炭火円盤焼き



イラク安定化への道のり

イラク戦争終結後の国難

- IS侵攻（2013-17年）、十月革命（2019年）、コロナ禍（2020-22年）、グリーンゾーン内衝突（2022年8月）を経て、安定的なスーダーニ政権発足（2022年10月～）
- 治安の安定と石油価格高値を受けて、財政・ビジネスが好転
- ガザ衝突の影響は限定的だが、民兵過激派の動向は気になる

イラクの悩み

- 親イラン派政権だが、米国も重要（米軍駐留2,500人）
- 石油依存・公的部門主体経済からの脱却（民間セクター開発）
- 危険国レッテルからの脱却（治安だけでなく、制度の不透明性や電力・水不足もビジネス障壁）
- 日本を敬愛するが、日本との経済関係は薄い（石油輸入1%未満）

ロケット弾飛来時



アニメコスプレ大会



JICAのイラク協力

特徴

- JICAはトップドナー（2023年政府対外借入れの24%）
- 2023年度円借款承諾額・貸付実行額共にイラクは第4位
- インフラ融資（電力・上下水・灌漑・港湾・石油・橋梁・通信・保健）と技術協力
- 民間セクター開発と日本企業進出の側面支援

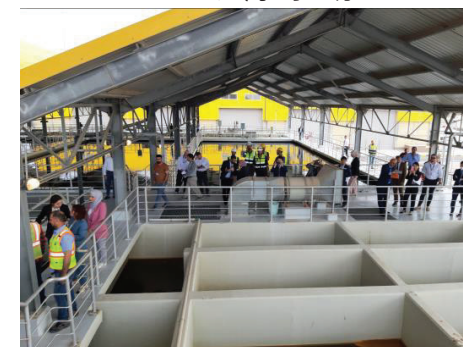
イラクが円借款を借りたい理由

- 融資条件が譲許的
- 手続きがクリーン（JICA調達ガイドラインの適用）
- 人材育成も行ってくれる（研修や密な案件監理支援）
- 事業を完成に導いてくれる（モニタリング委員会で問題解決）

ハルサ火力発電所



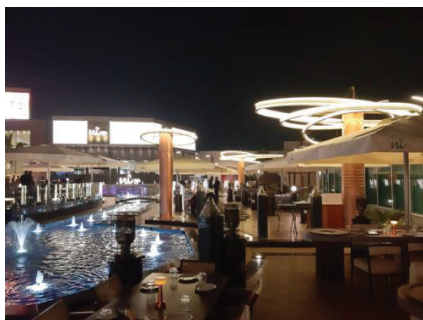
ハルサ浄水場



コールズベール港



バグダッドの風景



寿司レストランNi



商工会議所からの風景



チグリス川



タハリール広場



グリーンゾーン内のカフェ



空港通り沿いの花壇



負の遺産サダムモスク



私立の日本式教育校



砂嵐で外がオレンジ色

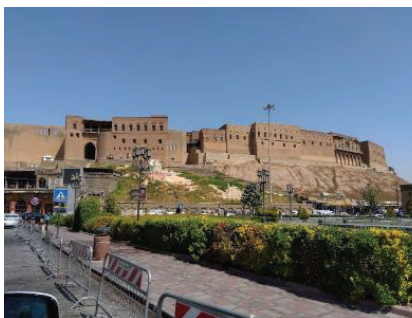


国立博物館

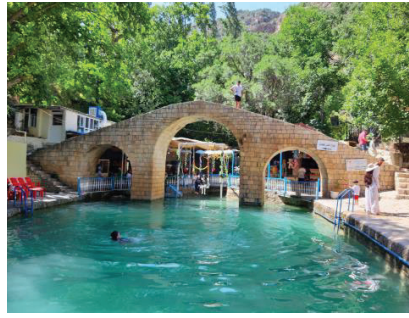
地方の風景



エルビルの高層ビル



エルビルのシタデル



北部アマデーヤ



北部ハラブジャ郊外



南部サマーワ